

消費者への多様な情報発信で農政情報をもっと身近に

農政について知ってもらい関心をもってもらうため、イベント、ラジオ放送、庁舎スペース等を活用し、消費者への情報発信。

○ 施策分類

その他（その他）

○ きっかけ・背景、課題の把握

これまでは生産者、行政、JA等といった農政に関係のある者との意見交換などにより、各施策等の情報発信、情報収集を行ってきたが、消費者にも知ってもらうべき政策について、情報発信の取組の実施が必要。

○ 取組の内容

- ・消費者が多く集まる農林業まつりに参加し、野菜の摂取量が分かる「ベジチェック」を設置して関心を得て、「ニッポンフードシフト」や「みどりの食料システム」等消費者に知ってもらいたい情報を発信。

- ・法務や税務等で合同庁舎を訪れる方々にエントランスを活用してパネル展示や映像により情報発信。

- ・FMラジオ局と交渉し、農業を応援するラジオ番組に出演して情報発信。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・イベントにおけるアンケート結果では、消費者の各施策の認知度の低さが顕著となった。

- ・「農林水産省の進めている政策について、今後もこのような展示をして欲しい。」等のご意見を頂いた。

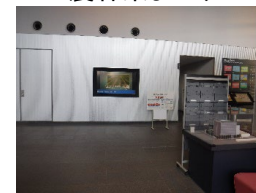
- ・これまで関わりが希薄だったマスコミとの関係構築ができた。
- ・継続的に広く情報発信をしていくことが必要。



農林業まつり



ラジオ番組出演



庁舎入口動画PR



庁舎入口パネル展示

体制図

広く情報発信

